

第9回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和6年11月11日(月) 19時-20時30分 姫路市医師会館

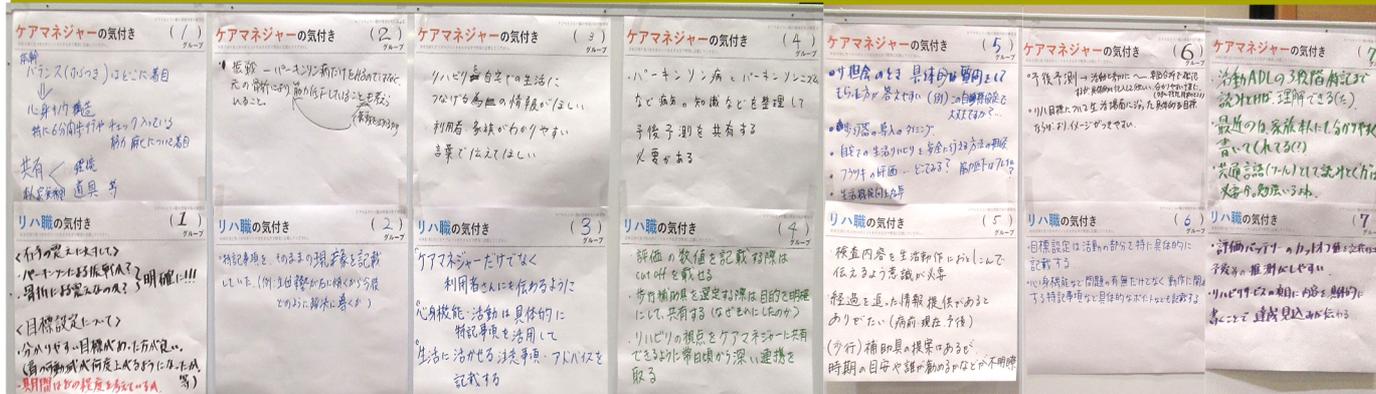


リハ職が書いた情報提供書(リハビリテーション計画書)をケアマネジャーとリハ職と一緒に読み取ることで、
《ケアマネ》生活機能の今後の可能性(将来予測)や、生活上の注意をどうやって確認するか
《リハ職》情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのか
 について考え、深めていくことを目的とした練習会になります。
 第9回は、ケアマネジャー12名、リハ職20名、看護師1名の計33名が参加されました。

今回は、作業療法士会より「進行性疾患で短期・長期目標設定に悩む事例」の提供(リハビリテーション計画書をご作成)をいただきました。7つのグループに分かれて、計画書に記載された情報について確認しながら、互いに学びを深める時間となりました。グループワークでの気づきや学びをケアマネ・リハ職別に用紙にまとめ、グループ毎に発表し、全体で共有しました。



《各グループのケアマネ・リハ職の気づきや学び》



《参加者アンケート 回答(一部抜粋)》

- ・担当者会議では、ケアマネから聞きたい事を聞くようにするといしかないと感じました(ケアマネ)
- ・リハビリ動作の根拠や目的の生活動作につながるのかを共有することは大事(ケアマネ)
- ・(練習会の複数回参加を通して)リハビリテーション計画書の内容の確認がしやすくなった(ケアマネ)
- ・書類や会議等での情報共有において評価などの根拠(裏付け)や具体的な目標を記載して全体像や今後の展望を共有できるよう意識していきたいです(リハ職)
- ・特記事項を活用して、評価の目的や活動状況等を簡便な方法で、より詳しく共有していきたい(リハ職)
- ・ケアマネジャーの視点からのリハビリを学ぶ事ができ、広い視野が必要と感じた(リハ職)
- ・(練習会の複数回参加を通して)リハ職の考え方や目標の共有をより蜜にできるようになった(リハ職)

「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は次年度も開催予定です(日時未定)
 今後の研修会情報につきましては、センターのホームページよりご確認いただけます